

スイートコーン（普通）

栽培暦

月	3	4	5	6	7	8	9	
マ								
ルチ直			播種	—————			収穫	
播								
普通直				播種	—————			収穫
播								

栽培の特徴とポイント

スイートコーンは、本来高温性作物であるが、雌穂が大きく生育し充実するためには22℃前後の平均気温が望ましい。また、生育スピードが早いので十分な肥料・水分が必要で、特に出穂開花期前後には多量の水分を要求する。粗放的に栽培できるが収穫適期幅が短いので、計画的な栽培に心がける。

品 種

ハニーバンタムピーター445：「ピーターコーン」より3日程度熟期の遅いバイカラー品種。先端不稔少なく、（サカタ） 包皮色濃く市場性が高い。

本ほ管理

1 ほ場の選定

- 1) 土質は特に選ばないが高品質生産には、耕土が深く、有機質を多く含んだ地力のある排水・保水性の良い壤土が適している。
- 2) 砂壤土は乾燥の害を受けやすいので、堆肥を十分施用することが必要である。
- 3) 重粘土では排水対策を施すと同時に、土壌の物理性を良くするために堆肥を施用する。

2 施肥

施肥例（kg / 10 a）

肥 料	総 量	基 肥	追 肥		成 分 量		
			1 回目 土寄せ時	2 回目 土寄せ時	N	P	K
完熟堆肥	2,000	2,000					
苦土石灰	140	140					
熔 磷	60	60				12.0	
高度化成	120	120			15.6	15.6	15.6
高度化成	60		30	30	10.8	3.0	9.0
合 計					26.4	30.6	24.6

3 播種

- 1) 栽植密度 畝幅95cm × 株間30cm × 1条（10a 当たり3,500株）
- 2) 種子は10a 当たり2～3リットル準備し、1カ所2粒まきとし、2～3cm覆土して軽く鎮圧する。
- 3) マルチをする場合は、播種の5～7日前に張り、十分に地温を上げておくと、発芽率や初期の生育の揃いがよくなる。

4 育苗

- 1) 前作物があって直播きできない場合や早植えする場合、育苗して本ほかに移植する方法もある。しかし、スイートコーンは移植を嫌う作物で、移植時に根が切れると植え傷みしやすいため、特に大苗の移植には細心の注意を払う。
- 2) ペーパーポットV4号に無肥料の床土を詰め、1粒ずつ播種し本葉2.5葉期までにほ場に定植する。定植が遅れると雌穂の太りが悪くなる。

5 除草 播種後、除草剤を散布する。

6 間引

- 1) 本葉5枚になった頃に生育の悪い苗を間引いて1本立ちにする。
- 2) 間引の際は手で引き抜かず、ナイフや鋏などで株元から切り取る。

7 追肥・除草

- 1) 草丈が30～40cmになったら、追肥（1回目）と土寄せを行う。

8 除房

- 1) 雌穂は株当たり3～4本発生するので、1株1穂とし肥大を促す。
- 2) 最上部を1本残し下の雌穂を除く。
1番穂は5～10%大きくなり、収穫も1～2日早まるので労力があれば除房したほうが有利である。

9 除けつ

- 1) 平常に生育すると分けつが2～3本出てくるが、放任し無除けつとすることで、省力的であり、根群の発達を促し倒伏防止の面でも効果的である。
- 2) ただし、早まきした場合など草丈が高くなり、分けつを遮光したり、防除や収穫作業がやりずらくなるので、分けつを途中から切断してもよい。

病虫害防除

- アワノメイガ : 雄穂抽出期から雌穂抽出期にかけて重点的に防除する。
アブラムシ : 雄穂抽出期以降から発生が多くなり、葉だけでなく果皮内にも入る

収穫・出荷

- 1 早穫りは甘味が不十分で萎びも早く、収穫遅れは包皮色が悪くし、萎びや皮の硬化になるので避ける。
- 2 収穫の適期は乳熟期の後半から糊熟期中頃までになり、これをすぎると急激に食味が低下する。
- 3 絹糸抽出後20日前後で、外観上は絹糸が褐色に枯れ、外から指で押して粒がつぶれる程度の頃を目安に行う。

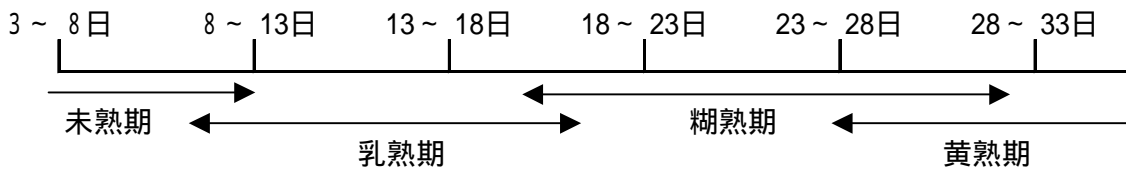


図 抽糸後(受粉後)の日数

- ・未乳熟期 粒は真珠色で透明がかっている。
- ・乳熟期 粒内を破ると乳濁色の乳状物がでる。
- ・糊熟期 同様にすると糊状物がでる。
- ・黄熟期 粒の表面が硬化する。

販売のポイント

- 1 品温が高いと急激に品質の低下が進むため、温度の低い早朝に収穫して地場産野菜のメリットを活かす。
- 2 収穫後は鮮度低下が早く、味が落ちやすいので、出来るだけ低温で迅速に出荷する。